

運用を助けてくれる 税制の優遇制度を 活用しましょう！

定期預金の利息や、投資信託・株式等で利益を出した時には、原則所得税と住民税が差し引かれます。2018年2月時点では、利益に対して20.315%の税金が差し引かれます。

国は、わたしたちが投資を通じて資産形成をするにあたって手助けになるよう、非課税制度を設けています。このページでは、今注目されている3つの制度を紹介します。

ステップ3 ライフイベントを 書き出してみよう！

今まで紹介してきた内容は、資産運用のほんの第一歩です。これから二歩、三歩と進んでいくにあたり、あなたのライフイベントを書き出してみませんか？「いつか、あの資格を取りたいな」や「そのうちに〇〇に住みたいな」といったぼんやりとした夢も、書き出すことで具体的にになりますし、そのために何が必要か、お金がいくらかかるかといったことも明確になります。これからのイベントを考えていけば、ライフプランも立てやすくなるでしょう。

例えば・・・

どんなライフイベント？
〇〇の資格をとる

いくらかかりますか？
50 万円

何年後？
2 年後

どんなライフイベント？
留学する、旅行する、家を買う、老後移住する、

いくらかかりますか？
例えば10万円、100万円？

何年後？
5年後、10年後ですか？



あなたのライフイベントを書き出してみよう！

どんなライフイベント？

いくらかかりますか？
 万円

何年後？
 年後

どんなライフイベント？

いくらかかりますか？
 万円

何年後？
 年後

どんなライフイベント？

いくらかかりますか？
 万円

何年後？
 年後

iDeCo

(個人型確定拠出年金)
公的年金以外でも、自分自分の老後に備えるための制度です。iDeCoを申し込んだした金融機関で月々の掛金を拠出し、自分自身で好きな商品を選んで、60歳以降に年金または一時金で受け取ります。

iDeCoの最大のメリットは掛金の拠出時、運用時、受取時の3つの段階で税制優遇が受けられることです。原則60歳までは積立金を取り崩すことができないうため注意が必要ですが、老後の資金という目的が明確な資金であれば、その分税制メリットはとても大きい制度です。ご確認ください。

※お勤め先で、企業型確定拠出年金に加入できる方は、そちらも活用しましょう。
※iDeCoについての詳細は、iDeCoの公式サイトをご覧ください。
<https://www.ideco-koushiki.jp/guide/>



NISA

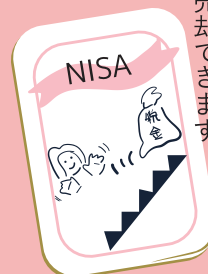
株式や投資信託などに投資し、売却時に得る利益が非課税になる制度です。毎年120万円までNISAを利用して購入することができ、5年間の間であれば非課税で売却できます。

つみたてNISA

売却時の税金が非課税になる点はNISAと同様ですが、異なる点が3点あります。
まず1年間で利用できる枠は、積み立てる前提で40万円まで、また、非課税の期間は、20年間です。これは、長期で積み立て、時間を分散していくことでコソコソと資産形成していくことに配慮した設計になっています。

最後に、つみたてNISAをつけるのは一部の投資信託とETFに限定されています。

※NISA・積み立てNISAについての詳細は、金融庁の「NISA特設サイト」をご覧ください。
<http://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>



どの制度を利用するかは迷うところですが、ここで大切なのがお金の色分けです。

老後の資金のためであれば、iDeCo、出し入れしやすいことを念頭にコソコソと長期で積み立てたいなら積み立てNISA、ある程度まとまった金額で投資し、非課税のメリットを享受したい場合はNISAなど、目的に応じて色分けをしていきましょう。

iDeCoとNISA(もしくは積み立てNISA)を併用するというのも選択肢です。(同年に、NISAと積み立てNISAの併用はできません。)

税制のメリットを活かしながら
お金を育てて行きましょう！



マネーエコ・コラム ーマネートラブルー

お金についての少し怖い話…カードゲームで言えば「JOKER」のような存在についても紹介しなくてはなりません。現在の社会は、例えばクレジットカードや電子決済が普及し、手元に現金がなくても買い物ができる等便利な生活が身近にある一方で、思わぬトラブルも増えています。

例えば、「多重債務」。これは、借金を返すために新たに借金をするといったような自転車操業的な借り入れを繰り返し、返済が困難になってしまっている状態を言います。

多重債務に陥る事例は様々です。自分の収入以上に浪費をする、予定外の失職等で収入が減ったため借り入れをしてしまう、犯罪に巻き込まれてやむを得ず借り入れるなど、いろいろなパターンがあります。

PCやスマホ上でのやり取りで簡単に手続きが済むからと、無計画にお金を借りてしまうと、後々が大変です。お金のトラブルは、誰にも話せずに一人きりで長期間に渡って悩んでしまうこともあります。解決方法を探すためには一人で悩まず、警察や弁護士、司法書士などの専門家に相談してみましょう。

「お金」の流れを意識して ライフプランを

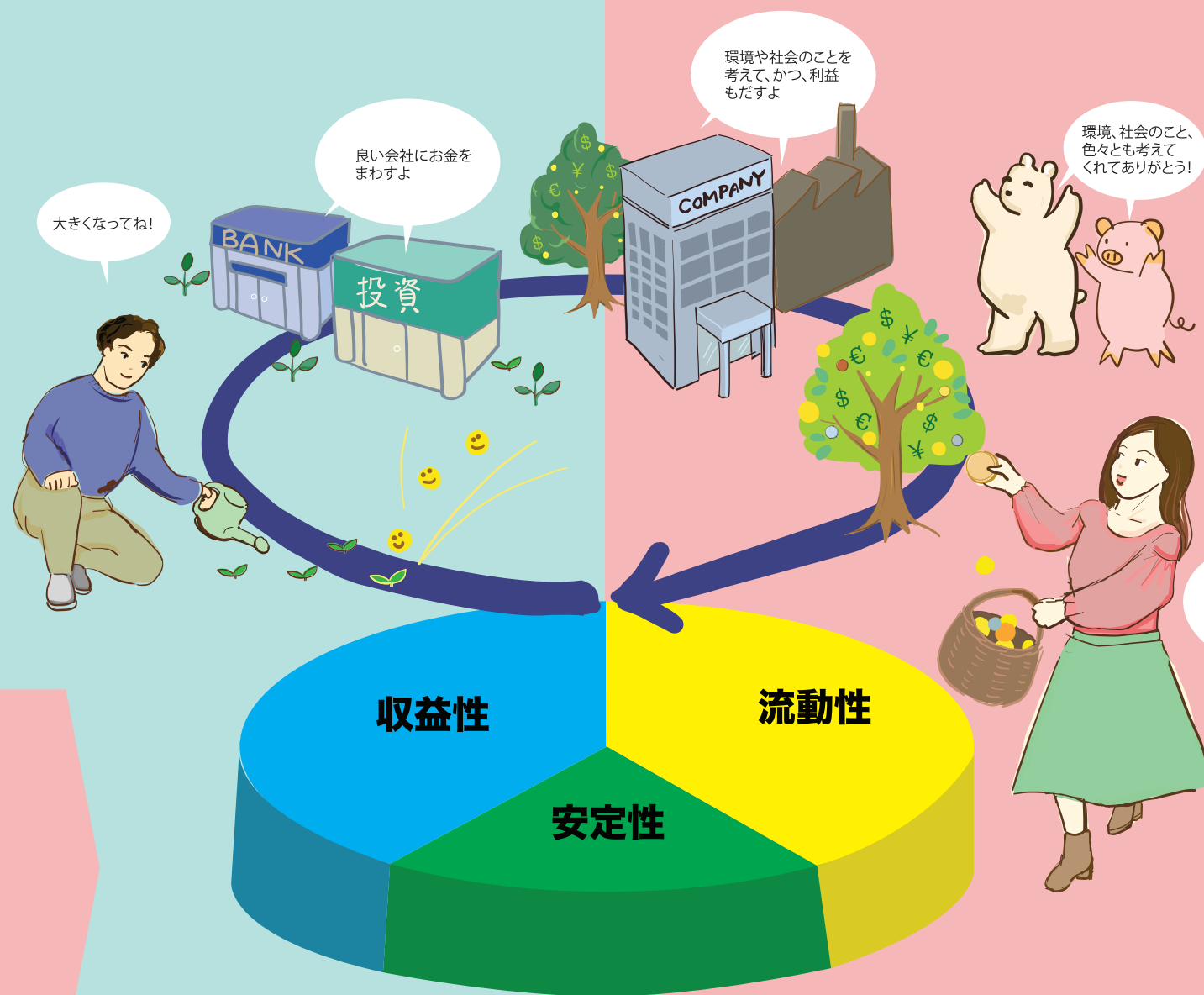
「お金」の知識を持って 設計しませんか？

始めに、「金融」とは何かという話をしました。金融とは、ただ単にお金を融通するだけではありません。

そのお金の流れに関わる全ての人（例えばお金を貸した先の企業だけでなく、その企業の従業員やその家族、企業の工場がある地域やそこに住む住民、企業の取引先やお客さまなど）持続可能な豊かさ可以享受できる社会を作ることが、金融の役割なのです。私たち一人一人も、この金融に関わる1人の人間として責任を持って、お金と付き合っていきましょう。

さて、ここまでは、お金と社会問題の関わりと、具体的な選択肢について紹介してきました。では、実際に自分の財産を作っていこうとした時に、どう考えてどう行動していけばよいのでしょうか？それには、自分のライフプランを立てて、お金の色分けをすることが必要になっていきます。

右側の章で、資産づくりについての基本を説明しています。右側の表紙から引き続きご覧ください。



これまで説明してきた通り、自身が汗を流して働いて稼いだお金を守ること、そして欲しいものを手に入れるためや、夢を叶えたりするためにはお金は欠かせないもので、目的に応じてお金を守ったり、時には積極的に投資したりすることも大切です。

お金を運用する方法にはたくさん種類があります。それを知識として身につけることが、私たちの目標を実現していくための大切な手段になっていくはず。 「お金には色はない」とよく言われますが、本当は、それぞれに目的や夢のある色とりどりのものではないでしょうか？

さて、こちらの章では、お金の歴史から自身の生活とお金との関わり方を考えていきました。実は、お金は預けてそれで終わりではありません。お金には、私たちが預けた先、投資した先でも、様々な「想い」に関わっています。お金の流れのその先を、考えたことはありますか？このあとは、社会とお金の関係について考えてみましょう。

左側の表紙から引き続き
ご覧ください。